NPOわかやま環境ネットワーク通信

ういねっと



特集号 2009年4月9日

4月25~26日 高野山で会おう

人類の生存をかけた国際会議COP15 (2009.12.07~コペンハーゲン)の成功に向け、和歌山から世界へ日本の草の根の声を発信しようと、一年前から準備を進めてきた「地救ふぉーらむin高野山」が、いよいよ目前に迫った。

折しも、そのCOP15に向けドイツのボンで開かれた準備作業部会では冒頭、 米国政府代表団を率いるスターン気候変動問題担当特使が、「我々は帰ってきた、 失われた時間を取り戻したい」と演説、満場割れるような万雷の拍手を受けたと いう。言うまでもないが、「帰ってきた」というのはブッシュ政権による京都議 定書離脱からの復帰を、「失われた時間」とはその間に無為に失われたブッシュ 政権2期8年の歳月を指す。オバマは本気だ。

こうした米国の変化が、危機に瀕する世界の未来に差したほのかな光明のひとつであることは疑いない。だがだからといって、COP15での世界の合意がこれで保証されるものでもない。対立点を抱えた交渉課題が山積する一方で残された時間は少なく、世界を覆い尽くす経済危機も前途に暗雲を投げかけている。こうした状況を打開し交渉を合意へと加速するには、狭い国益などにとらわれない市民の声を世界に広げ、交渉当事者を叱咤しまた勇気づけることがどうしても必要だ。

「地球ふぉーらむin高野山」は間違いなくその機会になる。であればこそ、失敗は絶対に許されない。幸い、全国の環境NGOや関係諸団体、さらにデンマーク大使館ほかのご理解と全面的な協力を得て、プログラムはこれ以上なく充実して完成した。あとはどれだけの人たちが集うかだ。地球温暖化はじめ環境問題に深い見識をお持ちの本紙読者とあれば、来る25~26日は人類救済のために集うことを何よりも優先してほしい。高野山でお会いしましょう。

代表理事 重栖 降

「地救ふお)らむ

させよう

とき 2009年 4/25 (土) $\cdot 26$ (日)

ところ 高野山大学 和歌山県伊都郡高野町高野山385

主催 MAKE the RULEキャンペーン実行委員会

温暖化防止COP15ネットワーク関西

財団法人 雜賀技術研究所

NPOわかやま環境ネットワーク

協賛 高野山大学

地救ふぉ~らむin高野山 【プログラム】



【4月25日(土)】

12:30~13:00 受付

13:00~13:50 開会セレモニー

- * 琵琶演奏
- * 主催者挨拶 わかやま環境ネットワーク 重栖 隆
- * 歓迎挨拶 高野山真言宗管長·日本仏教会会長 松長有慶氏

13:50~14:50 基調報告

- * フランツ=ミカエル・スキョル・メルビン氏(デンマーク大使)
- * 浅岡美恵(気候ネットワーク代表)
- * アンジェラ・レッドフォード・アンダーソン氏(米国気候行動ネットワーク・プログラムディレクター)

14:50~15:00 休憩

15:30~17:50 パネルディスカッション

* テーマ「加速する温暖化、まだ間に合う! コペンハーゲンで決めよう『地救』のルール」

* パネリスト

浜中裕徳(地球環境戦略研究機関理事長)

西岡秀三(国立環境研究所)

榎本純子(紀州えこなびと代表)

平田仁子(MAKE the RULEキャンペーン事務局長)

* コーディネーター 早川光俊(CASA専務理事)



浜中裕徳氏



平田仁子氏



浅岡美恵氏

早川光俊氏

20:00~22:00 宿坊交流会

【4月26日】 9:00~12:00 分科会



分科会1のテーマは「The CHANGE 2009 ~温暖化ガス削減の法作りへ、 高野山から踏み出そう~」。

COP15で日本が先進的役割を果たせるよう、温暖化ガスの大幅削減に繋がる 法律の制定など、国内のしくみや政治のあり方について考えます。

出演者は以下のとおりです。

枝廣淳子(環境ジャーナリスト)

飯田哲也(環境エネルギー政策研究所所長)

寺田達志(環境省地球環境局長)

平田仁子(MAKE the RULEキャンペーン事務局長)

分科会2のテーマは「The DREAM 2050 ~本当の豊かさへ、化石燃料を卒業した世界を考える~」。

温暖化を克服した世界は?そして、そこで営まれる暮らしは?『地球温暖化/人類滅亡のシナリオは回避できるか』の著者、田中優(未来バンク理事長)さんとともに考え、夢いっぱいに語り合いましょう。



出演者は以下のとおりです。

田中優(未来バンク理事長)

国立環境研究所「2050日本低炭素社会シナリオ」策定メンバー(予定)

重栖隆(わかやま環境ネットワーク代表理事)

榎本純子(紀州えこなびと代表)



分科会3のテーマは「The SOUL future ~持続可能な社会に繋がる心を、 霊峰高野山で考える~」。

新しい持続可能な世界を導く新しい価値観=「地救」の心や宗教の役割について、仏教・神道・キリスト教等の宗教者からお話を伺い対話します。

出演者は以下のとおりです。

村上保壽(高野山真言宗教学部長、文学博士)

ホアン・マシア(WCRP日本委員会平和研究所、カトリック・イエズス会司祭)

薗田稔(WCRP日本委員会平和研究所·秩父神社宮司·京都大学名誉教授)

信國眞一(東本願寺)

田浦健朗(気候ネットワーク事務局長)

分科会4のテーマは「The LIFE next \sim 海、山、そして田んぼ、温暖化と 生命の源を考える \sim 」。

温暖化する世界で生命の源となる食をどのように確保し、次世代に受け渡してゆくか、農林水産の恵みと、その持続可能な未来について考えます。

出演は以下のとおりです。

小松正之(政策研究大学院大学) 谷山一郎(農業環境技術研究所) 早川光俊(CASA理事) 農業·漁業従事者

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~14:30 全体集会

特別講演 : 三浦雄一郎(冒険家) テーマ~地球温暖化・エベレストからの警告

閉会挨拶 : 後藤太栄高野町長



高野山への直通バス情報

(Wenetのホームページが最新情報です)

東京発着(発着地未定)

往路: 24日夜東京発一25日朝高野山着

復路:26日夕方高野山発一26日深夜東京帰着

費用:1500円(往復分)

第一次申込み締め切り:4月10日

(この時点で予約者が20名に達した場合催行します)

申込先:気候ネットワーク東京事務所

(tel:03-3263-9210 e-mail:tokyo@kikonet.org)

JR京都駅八条口発着

25日 9時発 21時頃帰着 26日 6時半発 18時頃帰着 費用:300円(往復分)

申込先:京都=気候ネットワーク

(tel:075-254-1011 e-mail:kyoto@kikonet.org)

JR神戸駅南口発着

25日 9 時発 2 1 時頃帰着 26日 6時半発 18時頃帰着

費用:3000円(往復分)

問合せ先:わかやま環境ネットワーク

(tel:073-432-0234 e-mail:wenet@vaw.ne.ip)

JR和歌山駅東口発着

25日 10時発 20時頃帰着 26日 7時発 18時頃帰着 費用:200円(往復分)

申込先:わかやま環境ネットワーク

(tel:073-432-0234 e-mail:wenet@vaw.ne.jp)

宿泊を伴う参加についてはJTB和歌山へ

■ 参加登録・宿泊のお問い合わせ先

株JTB西日本 和歌山支店

TEL 073-432-1437 FAX 073-432-2775

担当者:長谷川·森本·鈴木

その他のご質問等

NPOわかやま環境 ネットワークへお願 い致します。

■事務局

わかやま環境ネットワーク

TEL 073-432-0234 FAX 073-432-3881

URL http://2050earth.org/

e-mail koyasan@2050earth.org

通 機関



図表出典: 高野山大学HP

大阪難波駅から南海高野線で高野山駅まで特急で1時間20分(1日4本) 急行で1時間40分(30分毎発車)

- 関空から難波駅まで南海特急ラピートで約30分
- ●新大阪から難波駅までは地下鉄で約20分
- 和歌山・奈良方面からは、JR和歌山線橋本駅で乗り換え→南海高野線

高野山大学周辺地図



● 参加費 1,000円 般

500円 学 牛

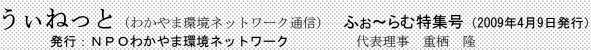
高校生以下 無 ※一部参加の場合も一律。

託児所、英語通訳あります 備

● 宿泊費 1泊2食 9,500円(1部屋3人以上)

※お2人で1部屋ご利用の場合は 1人10,500円となります。

参加券をお持ちの方は当日、受付でお示し下さい。 参加券は当日、受付で購入できます。



代表理事 重栖 隆

〒641-0051 和歌山市西高松1-6-4 電話 073 (432)0234 FAX 073(421)6545 http://wenet.info/ mail: wenet@vaw.ne.jp